

ユーモアスピーチ船橋

2019 (H31) 年 4 月 11 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

156 回船橋ユーモアスピーチ

2019 年 4 月 11 日 (木)

3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「日記」、「お節介」

ロングスピーチ

田谷 正明さん「おしっこのハナシ」

長嶋 秀治さん「悪口でスカッと！」

3 月 14 日の参加者：入江、はらだま、辻内、飯野、中島、
工藤、松永、中久木、田谷、山田、川田、関口、山中、
植野、早瀬、町田、長嶋 17 名

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘

5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」

船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

3 分間スピーチダイジェスト テーマ「贅沢」「引退」

山田 正國：「ケアセンター送迎バス内の会話」

A さん久しぶりじゃない、お元気そうで

そうよあたしいつも元気よ A さんあなたのお友達の B さんどうしてる

-この間会ったんだけど、なんだか格安ツアーの 旅行の話してたよ なんでも行先
秘密 ルート秘密のミステリー旅行と云ってたよ それで私ね 行先秘密の旅行っ
て それ姥捨て山行 じゃないの交通費なんか半額じゃなくて 片道分だし、 気を
付けた方がよいよ と言っておいたんだけど、

ところで B さんお元気でしたか、

さあ その後 B さんに会っていないだもの、はっきり止めればよかったかな。

ケアセンタの運転手さん はいケアセンターにつきましたよ

中久木 一乗：「引退」

2018 年 3 月で 歯科診療所の院長を引退しました。患者さんに惜しまれ、私も心
残りがあるものの 脳と筋肉の退化と言う、人間にとって当たり前の自然現象の中で
自然な引退であり幸せな引退でした。

ただ、引退後の毎日の人生を如何に楽しむか？ 悩んでおりましたが、松永成三
郎先生に「船橋ユーモア大楽」に誘って頂き救われました。

しかし、未だにユーモアのあるお話ができません。

入会して 1 年、心優しい会員の皆様から、毎月のバーミヤン分校における「居残り
追加授業」で、YOU はもっと熱心に取り組み！ 「YOU は、もっと 良くなる」「YOU
MORE」「YOU MORE」と励まされ、ハゲマサレ、頭の毛も減少したような気がします。

4 月からは ハゲマシが減って、禿げが大きくならないように、ユーモアあるお話
ができるように努力しますので宜しくお願い致します。

飯野 望：「贅沢」

最近の身の回りにあるものは、全て贅沢といっても過言ではありません。

今では、知能のついた人口スピーカーが口頭だけでメール送信してくれます。

便利すぎて、独り言や、間違った相手にも本音が届くことも・・・

山中 昇：「ヨガ」

皆さんをお連れするヨガについて基本的な情報を伝えました。

- ①身体を極端にひねることはしない（無理をしない）
- ②しっかりと足を地につけて立つ
- ③呼吸法
- ④腸運動
- ⑤関節をほぐす
- ⑥瞑想 など



スタジオでは、スタンダードメニューの一部を体験していただきました

*丹田たたき、腸運動、つま先たたき、皿回し、呼吸など

最後は、スタジオ責任者の気功演技で締めました

工藤 文夫：「贅沢品にはトゲがある」

○第1のトゲ（我が家は4人家族ですが、親戚に電機メーカーのT社の社員がおります。その為、無料でTVが貰えるので、6台も所有しており、チャンネル争いがなく、ある意味では贅沢です。しかし、ふろ場のTVはP社しか発売されていないため、しぶしぶ自腹で購入しています。15インチにしては高額であり、10年間で3台も買い替えるはめになり、結構な負担金になっています。）個人的にはお薦めできません。

○第2のトゲ（前に勤務していた会社の社長から、高級そうな洋皿を頂き、たまに使用した後、女房が洗っている最中に手を滑らせ、皿にひびが入ってしまいました。つい叱責したら、10倍返しをくらいました。日頃のうっ積が爆発したのです。結局、今後の食器洗いは、その皿の有無関係なく、全て私がやるはめになったのです。春は近いですが、洗う水はまだ冷たく、とんでもないことになりました。

田谷正明：「引退」

ここ習志野に移って来て8年。初めて参加したクラブは「スイミングスクール」でした。朝一番、50名くらいの女性の中、男ひとり。水の中の運動は気持ち良かったが、運転免許証返納したため通えなくなり卒業・引退。次に入ったのは「蕎麦打ち教室」。ここも9名女性で私のみ男、ハーレム状態で気持ち良かったが腰痛でどんどん先輩が辞めてしまい、いつの間にか腕前が上がらないベテランになった。1年半前にハラダマ夫人が参加、グングン腕前を上げアツと言う間に私を超え、追い出されるように先月、退会・引退を余儀なくされた。スイミング、蕎麦の次に入ったのがこの「ユーモアスピーチ」。ここの先輩はなぜだか皆さん元気一杯でなかなか辞める人が居ない。6年経ってもまだ鼻垂れ小僧扱い。この会の引退はもう少し先になりそうです。

植野 晏生：「緑内障」

認知機能検査も満点で通過し高齢者講習も無事にこなしてルンルン気分が警察へ行くと、目の検査で出直しとなりました。翌日眼科に行きましたが、緑内障で左目の視野が狭くなり運転不向きと。再検査を待って返納を薦められました。損傷した視神経は回復しない。免許更新ならず**免許証返納**となったわけです。考えてみれば事故を起こしてから悔やむより、免許更新ならず事故を起こさないほうが良かったわけでして。早期発見早期治療が大事です。私は失敗しましたが、診察がおかしいと思ったら是非セカンドオピニオンを。（悲しいかな、これから恋をします。恋は盲目なり。）

入江清之：「引退」

私は現役引退時（20年前）に或る女子社員から記念品として10年日記帖をもらい、又これかも10年毎に日記帖を贈りますと云われた。私はそれまで日記を付けたことがないので三日坊主を懸念したが、彼女の優しさを無下にできないとの思いで、今でも書いている。1冊目の最後の年の暮れに彼女に2冊目の日記帖を催促するとスイマセン忘れていましたと云い後日手渡してくれた。しかし3冊目は彼女が8年前に名古屋へ転居したので、そこまで催促できず自分で購入した。しかし彼女からの日記帖が切掛けで、この20年間書き続けて来たことが私のポケ予防の一助となっているので彼女には感謝感激雨霰（嵐は✕）である。

**町田雅和：「贅沢」**

サラリーマン時代の贅沢といえば、午後に半日休暇をとって、御徒町の登り亭という鰻屋で鰻を食べて上野鈴本で落語を聞くことでした、平日の昼間、みんなが働いている中、このゆったりとした時間を過ごせることが何よりの贅沢でした。但し注文する鰻は、いつもランチセットの“鰻井”、かみさんからは、たまには“鰻重”にしたらと言われていました。贅沢には縁のない町田でした。

松永 成三郎：「引退」

「引退」という言葉の意味をあらためてネットで調べてみますと、「引退とは役職や地位から去る様子」または「スポーツや芸能活動から退く様子」とあります。私はそのどちらにも幸か不幸か該当しないで今日まで来ています。人生百年時代を迎え、生涯現役でいたいと思う人は結構いると思いますが、私もその一人でしょうか。私にとっては「引退」とは人生の引退、すなわちあの世行きを意味すると思っています。引退したいと思ったこともある反面、まだまだ頑張ろうと努力していますが、周りではそろそろ引退してくれないかと忍耐している向きもあろうかと考える昨今です。

早瀬 君子：「贅沢」

外国の人たちに“あなたにとっての贅沢とは？”とインタビューするテレビ番組を観て、その国の地理、水準や文化によって全く異なる“贅沢の概念”には考えさせられとても興味深かった。中でもアフリカ最貧国のマラウィ共和国では冷蔵庫がない生活水準、ジュースなどの清涼飲料水を冷やして飲めることが“贅沢”だ、口を揃えて応えていた。一緒に観ていた幼馴染と“贅沢談義”が始まり、私の自由気儘な独り暮らしは贅沢だと言われてしまった。夫を亡くして息子家族と住む友人は気遣いも多く、一人のんびりと入浴出来ることさえ贅沢なことだと言われた。同世代の友人たちからも夫の世話に時間を割かれる不平を聞くが、何事も自分で決めて思いのままに暮らす独り暮らしは“贅沢”と言えるかもしれない。それぞれの事情や生活環境で異なってくる贅沢感であろうが、淋しさも伴うものの私は贅沢な生活をしているのだと思うことにした。



長嶋秀治：「引退」

「キラキラネームもうやめよう」という 12 歳の女の子の投書が新聞に載っていました。私も日ごろから??? という名前が多くなったかと憂っていた一人です。そんな折、甲府家裁が 18 歳の男子高校生の「王子様」という名を「肇」に改名の申し立てを許可したという新聞記事を見ました。元の名は「唯一無二の王子様のような存在」という母親の思いが由来とあります。キラキラネームは戦前もあったようで「六十里二、・・・、・・・」「ムツソリエニ、・・・、・・・」というように。日経・春秋の記者は心配していました。ムツソリーニと名付けられた人はどう生きていただろうかと……。キラキラネームはもうやめにしたらいかがでしょうか。



予告：5月 「船橋ユーモアスピーチの会」

5月9日（木）14時 ニッセイプラザ1階 会議室

ロングスピーチ 早瀬 君子さん

～忘れ得ぬ「映画のラストシーン」～

山田 正國さん 「五重塔」

スピーチテーマ 「ご馳走」、「弱点」